



株主通信

2009年6月

H₂Oリテイリンググループの基本理念

地域住民への生活モデルの提供を通して、
地域社会になくてはならない存在で
あり続けること

社名の由来について

当社グループの企業理念である

「地域社会になくてはならない存在であり続けること」をふまえ、

地球環境になくてはならない存在である

“水”(H₂O)に置き換えて表現しました。

CONTENTS

トップメッセージ	2
阪急百貨店うめだ本店建て替え	3
H ₂ Oリテイリング	6
百貨店事業	7
スーパーマーケット事業	8
2008年度 決算のご報告	9
2009年度 業績予想	10
株主優待制度がスタート	11
株主アンケート結果のご報告	13
株式の状況	14
会社概要	14



表紙の写真は建て替え中の
阪急百貨店うめだ本店。
(2009年5月撮影)

トップメッセージ

代表取締役社長 わかばやし **若林** じゅん **純**



当社グループでは、平成19年(2007年)10月の株式会社阪神百貨店との経営統合を機に長期事業計画を見直し、「GP10(グランプリテン)計画ver.2」を新たに策定し、その基本戦略である「関西圏におけるマーケットシェア拡大」に向け、様々な取り組みを進めております。

平成20年度(2008年度)は、(株)阪急百貨店と(株)阪神百貨店の合併やスーパーマーケット事業における5社の合併など、効率的な経営体制の構築を図りましたが、急速な景況の悪化に伴う個人消費の冷え込みにより、厳しい業績となりました。

個人消費を取り巻く環境は今後さらに厳しい状況が続くと思われませんが、それに加え、本年9月には、現在工事中の阪急百貨店うめだ本店のI期棟への移転により

売場面積が減少し、業績の落ち込みが予想されます。

この状況は、阪急百貨店うめだ本店のグランドオープンまで続くと思われませんが、阪神百貨店梅田本店の改装やハウスカードの再編、食品スーパーの出店など、グループ全体でその影響を最小限にとどめるよう努力してまいります。

このように、「GP10計画ver.2」を着実に進めていく一方で、昨年10月には、将来のさらなる成長を見据え、株式会社高島屋と経営統合を目指した業務提携及び資本提携に合意いたしました。現在、業務提携委員会のもと、様々な準備を進めております。

株主の皆様には、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

阪急百貨店うめだ本店 I期棟いよいよ9月開業



2005年秋より建て替え工事がスタートした阪急百貨店うめだ本店。本年9月には、南側で建築中のI期棟がいよいよ完成し、営業を開始します。I期棟の開業に伴い、売場面積は現在の43,000㎡から27,000㎡に減少し、売上の減少が予想されます。

これにより、本店のグランドオープンまでは業績的に最も厳しい時期に入りますが、同時に阪神百貨店梅田本店およびインクス館の改装を実施し、昨年2月に開業した阪急百貨店メンズ館とともに4館体制で業績の落ち込みを最小限に抑えるよう努力してまいります。そして、I期棟開業後は、北側エリアを建て替えるII期工事に入ります。多くの人や車とともに電車も行きかう都心の真ん中での工事であり、大変な難工事が予想されますが、安全に最大限の配慮をしながら、2012年のグランドオープンを目指して工事を進めてまいります。工事期間中は皆様にはお買物・ご通行などで大変ご不便をおかけいたしますが、引き続き“阪急”“阪神”2つの梅田本店をご愛顧いただきますようお願いいたします。

阪急百貨店うめだ本店 I期棟概要

開業(予定)	2009年9月
売場面積	約27,000㎡
フロア	B2~12F

阪急百貨店うめだ本店I期棟について

I期棟では、地下2階～地上12階までが売場となります。売場面積は狭くなりますが、お客様から支持の高い婦人ファッションを中心に展開するとともに、集客力のある食品フロアを地下2階～1階に配置し、子供服・洋品はイングス館に移設することで、売上の確保を図ってまいります。



I期棟開業後の売場面積

		2009年9月以降
阪急百貨店 うめだ本店	I期棟	約 27,000 m ²
	メンズ館	約 16,000 m ²
	イングス館 他	約 7,000 m ²
阪神百貨店梅田本店		約 53,000 m ²
梅田事業合計		約 103,000 m ²

阪急百貨店うめだ本店 I期棟フロア構成(予定)

12F	家庭用品 他
11F	呉服・美術・催事 他
10F	
9F	
8F	婦人服
7F	
6F	インターナショナルファッション
5F	
4F	
3F	婦人服飾雑貨
2F	
1F	
B1F	食料品
B2F	

阪神百貨店とのアクセスを改善

今回の建て替え工事に伴い、アクセスの改善も図っています。阪神百貨店梅田本店、JR大阪駅などをつなぐ歩道橋から、直接店内(2F)に入ることができるよう、新たに入口を設けました。また、従来は、地下街と地下1Fの売場の間には階段ありましたが、フロアの床を下げることで段差をなくしました。これにより阪神百貨店梅田本店との往来が便利になります。



現在工事中の2階入口(5月現在)

阪急百貨店うめだ本店の歴史を 新しいビルに“保存”

1929年に竣工し、梅田の街の発展を見守ってきた阪急百貨店うめだ本店（旧梅田阪急ビル）。旧梅田阪急ビルは、特徴的な外観や優美な装飾が施されたコンコースなど、梅田を代表する建物のひとつといわれてきました。

当社では、新しいビルに旧梅田阪急ビルのデザインを随所に取り入れることで、うめだ本店の“歴史”を新本店に引き継ぎ、梅田の新しいランドマークにしていきたいと考えています。

1929年創業時の
阪急百貨店うめだ本店



新本店では、旧ビルの特徴的なデザインである、“田の字”型の窓、各階の庇、グランドフロアのアーチなどを復元するとともに、創業時に使用されたタイルをベースにした外壁にするなど、旧ビルの雰囲気再現しています。

本店グランドオープン時には、 旧コンコースの雰囲気を再現

旧コンコースとそれを華やかに飾っていた伊東忠太博士による四神をあしらった装飾。この装飾は、南側の旧ビルを壊す前に壁から一枚一枚丁寧にはがされ、専門家の手によって修復されました。現在は大事に保存され、本店のグランドオープン時には、店内に復元する予定です。



工事前のコンコースと装飾

専門家に四神の装飾の
修復を依頼

H2Oリテイリング

ペルソナカードがより便利に + 新しいポイントカードが今秋登場

H2Oリテイリンググループのカードを再編

当社グループでは、阪急百貨店と阪神百貨店の経営統合以降、ハウスカードの相互利用を進めてまいりましたが、さらに便利にお買物をしていただけるよう両店のハウスカードを共通化することといたしました。

まずは本年4月に「阪急百貨店ペルソナカード」を「阪急阪神ペルソナカード」に変更し、阪神百貨店でのお買物も年間のお買上額に積算、両店で最大10%のご優待が受けられるようになりました。

そして、本年秋には、新しいカードとして「阪急阪神エメラルドSTACIAカード」を阪急阪神ホールディングスと共同で発行いたします。

この新しいカードでは、阪急阪神百貨店だけでなく阪急電鉄、阪神電車などの交通利用や阪急阪神ホールディングスの施設でも共通ポイントがたまります。

この共通ポイントは、当社グループの食品スーパーや個別宅配とともに、関西を地盤に活動する企業や沿線の諸店舗にまで範囲を広げ、お客様の利便性向上を図っていく予定です。

また、阪急阪神グループの資産を活かした魅力あるポイント交換メニューをご用意することで、ためるだけでなくポイントを使う楽しみも提供していきたいと考えております。

≡ 阪急阪神ペルソナカード ≡



4月より、阪神百貨店でのお買物も年間お買上額に積算され、最大10%のご優待。

≡≡≡ 阪急阪神エメラルド STACIA カード ≡≡≡



阪神エメラルドカード



STACIAカード

統合 →



新しいポイントカードは今秋よりスタート。京阪神にお住まいの方なら、いろいろな場面でポイントがたまる魅力的なカードです。

百貨店事業



阪神百貨店尼崎店(仮称)概要

開業時期 2009年10月予定

売場面積 約5,000㎡

2009年10月、阪神百貨店 尼崎に出店

本年10月、5店目の阪神百貨店がオープンします。現在、JR尼崎駅北側で再開発が進む麒麟尼崎工場跡地に、この10月開業する商業施設「COCO^{ココエ}E」の核店舗として、阪神百貨店尼崎店(仮称)が開業予定です。

阪神百貨店梅田本店でお客様から支持の高い食料品と雑貨を中心とした地域密着型店舗として、現在、準備を進めております。是非ご期待ください。

阪急百貨店メンズ館マイレージカードを発行

2008年2月にオープン以来、数々の話題を提供してきた阪急百貨店メンズ館。開業後1年間で870万人のお客様にご来店をいただきましたが、お客様にお買物をより楽しんでいただくために、本年4月にメンズ館独自のポイントカード「阪急百貨店メンズ館マイレージカード」を導入しました。お買上金額に応じてポイントがたまり、たまったポイントの交換は、メンズ館ならではの多彩なメニューからお選びいただけます。

交換メニュー例

- ・世界の名品と謳われる万年筆などバイヤーがセレクトした雑貨
- ・ファッションを愉しむための「ナイスガイメイキングセミナー」への参加
- ・ネイルやヘッドスパなどの「メンズビューティー体験」



- ・入会金・年会費無料(ただし、18歳以上の方)
- ・お買上金額100円ごとに3ポイント
※バーゲン商品は1ポイント
- ・その場で発行、すぐにご利用いただけます。

スーパーマーケット事業

京阪神に広がるH2Oリテイリンググループの店舗ネットワーク 食品スーパー出店でドミナント化を推進

(株)阪食では、「GP10計画ver.2」の基本戦略である「関西商圏のドミナント化」を図るため、京阪神エリアにおいて食品スーパーの出店を進めています。

2008年度は、大阪市内に阪急ファミリーストアを3店舗(今里店、都島店、東加賀屋店)出店いたしました。

そして、2009年度は、4月に京阪電鉄・伏見桃山駅前に阪急オアシス伏見店をオープンしたのを皮切りに、合計5店舗の出店を予定しています。

今後も、引き続き京阪神エリアに出店してまいりますので、お近くの阪食グループの食品スーパーを是非ご利用ください。

店舗網 (関西圏)
(2009年5月末現在)

- 食品スーパー
- 今後出店予定
- 阪急百貨店
- 阪神百貨店
- 今後出店予定



「食の安全・安心」を徹底的に追求 阪急デリカの新惣菜工場が稼働

2008年11月、大阪府池田市に新しい惣菜工場が完成し、製造が本格的にスタートしました。

こちらの工場では、食品衛生管理システムであるHACCPに準拠した業界最高レベルの品質衛生管理体制、環境問題や従業員に配慮した設備・生産機器の導入による約20%のCO2排出削減効果など、徹底した

管理体制で安全・安心な食品の提供に努めています。

製造された惣菜などは、阪食グループの食品スーパーや阪急阪神百貨店の店舗でご購入いただけます。是非一度ご賞味ください。



2008年度 決算のご報告 (2008年4月1日～2009年3月31日)

● 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	金 額	前期比
売 上 高	509,525	108.0%
売 上 原 価	364,028	108.8%
販売費及び一般管理費	132,079	110.2%
営 業 利 益	13,416	78.4%
営 業 外 収 益	3,637	119.2%
営 業 外 費 用	1,751	82.4%
経 常 利 益	15,302	84.8%
特 別 利 益	271	9.6%
特 別 損 失	6,124	154.9%
税金等調整前当期純利益	9,449	55.9%
法人税、住民税及び事業税	3,577	52.4%
法人税等調整額	△533	—
少数株主利益	24	448.6%
当 期 純 利 益	6,380	67.5%

セグメント別業績

(単位:百万円)

	売 上 高 (前期比)	営 業 利 益 (前期比)
百 貨 店 事 業	389,792 (110.9%)	10,791 (79.4%)
スーパーマーケット事業	87,207 (97.1%)	1,170 (82.1%)
P M 事 業	8,947 (92.4%)	1,291 (73.9%)
そ の 他 事 業	23,577 (113.8%)	3,408 (330.7%)

2008年度の業績は阪神百貨店グループの上期業績が加わったことに加え、阪急百貨店メンズ館、西宮阪急のオープンもあり増収となりましたが、下期以降の急速な景気悪化の影響を受け、減益となりました。

● 連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等					新 予 約 権	株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 己 株 式	株 主 資 本 合 計	そ の 他 有 価 証券 評 価 差 額 金	繰 上 償 損	延 滞 益	土 地 再 評 価 差 額 金	為 替 換 算 勘 定 調 整 額			
前連結会計年度末残高	17,796	37,172	92,387	△192	147,164	16,840	41	42	△191	16,732	—	89	163,986
連結会計年度中の変動額													
剰余金の配当	—	—	△2,581	—	△2,581	—	—	—	—	—	—	—	△2,581
当期純利益	—	—	6,380	—	6,380	—	—	—	—	—	—	—	6,380
自己株式の取得・処分	—	—	△578	△87	△666	—	—	—	—	—	—	—	△666
持分法適用会社減少に伴う増加	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△12,936	△41	—	△213	△13,191	45	21	△13,124
連結会計年度中の変動額合計	—	—	3,220	△87	3,132	△12,936	△41	—	△213	△13,191	45	21	△9,992
当連結会計年度末残高	17,796	37,172	95,607	△280	150,296	3,903	—	42	△404	3,541	45	111	153,994

●連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	金 額	前期末増減	科 目	金 額	前期末増減
(資産の部)	323,044	△14,734	(負債の部)	169,049	△4,741
流 動 資 産	89,344	△22,005	流 動 負 債	88,845	△11,269
現金及び預金	39,890	△19,921	買 掛 金	30,456	△5,929
受取手形及び売掛金	20,613	△3,985	一年内返済予定の長期借入金	238	△1,086
有 価 証 券	609	△488	未 払 法 人 税 等	2,589	△2,535
商 品 及 び 製 品	16,128	1,127	繰 延 税 金 負 債	239	239
仕 掛 品	102	35	商 品 券	21,307	△982
原材料及び貯蔵品	684	66	賞 与 引 当 金	4,613	△185
繰延税金資産	5,025	911	役 員 賞 与 引 当 金	80	△54
短期貸付金	512	106	店 舗 建 替 損 失 引 当 金	3,227	2,271
未 収 入 金	3,738	166	関 係 会 社 事 業 再 編 引 当 金	971	971
そ の 他	2,197	△144	そ の 他	25,122	△3,979
貸倒引当金	△157	120	固 定 負 債	80,204	6,527
固 定 資 産	233,700	7,271	新 株 予 約 権 付 社 債	20,000	—
有 形 固 定 資 産	87,396	6,504	長 期 借 入 金	20,921	19,762
建物及び構築物	44,592	2,619	繰 延 税 金 負 債	9,294	△10,144
車 輦 及 び 器 具 備 品	6,525	851	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	348	—
土 地	32,493	△375	退 職 給 付 引 当 金	18,292	317
建 設 仮 勘 定	3,785	3,409	役 員 退 職 慰 勞 引 当 金	100	△440
無 形 固 定 資 産	25,151	227	店 舗 建 替 損 失 引 当 金	1,178	△3,093
の れ ん	17,971	△966	商 品 券 等 回 収 引 当 金	1,784	100
そ の 他	7,179	1,194	長 期 未 払 金	795	748
投 資 そ の 他 の 資 産	121,153	538	預 り 保 証 金	7,433	△529
投資有価証券	64,163	2,717	そ の 他	55	△191
金利スワップ	—	△68	(純資産の部)	153,994	△9,992
長期貸付金	1,862	△297	株 主 資 本	150,296	3,132
差入保証金	40,955	213	資 本 本 金	17,796	—
繰延税金資産	12,487	△1,596	資 本 剰 余 金	37,172	—
そ の 他	1,719	△500	利 益 剰 余 金	95,607	3,220
貸倒引当金	△35	72	自 己 株	△280	△87
合 計	323,044	△14,734	評 価 ・ 換 算 差 額 等	3,541	△13,191
			そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	3,903	△12,936
			繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	—	△41
			土 地 再 評 価 差 額 金	42	—
			為 替 換 算 調 整 勘 定	△404	△213
			新 株 予 約 権	45	45
			少 数 株 主 持 分	111	21
			合 計	323,044	△14,734

2009年度業績予想(連結)

第2四半期累計期間予想

通期予想

(単位:百万円)

	金 額	前期比	金 額	前期比
売 上 高	225,800	91.5%	460,000	90.3%
営 業 利 益	2,000	33.3%	6,000	44.7%
経 常 利 益	2,700	36.8%	6,800	44.4%
当 期 純 利 益	700	17.7%	2,700	42.3%

注:金額は表示単位未満は切り捨て、比率は表示桁数未満は四捨五入しております。

いよいよ株主優待制度がスタート

2009年3月31日現在の株主名簿において、1,000株以上ご所有の株主様に対し、株主優待制度がスタートいたしました。株主の皆様には、是非この機会に、当社グループに対するご理解を一層深めていただければと考えております。

基準日

毎年3月31日現在の株主名簿に記載された1単元(1,000株)以上所有の株主の皆様は、毎年6月下旬に1年間有効のご優待券を送付いたします。(年1回)

※お手許に届いた当日からご使用いただけます。



株主お買物優待券(イメージ)

優待内容

1 お買物優待券

当社グループの百貨店(阪急百貨店、阪神百貨店)及び、食品スーパー(阪急オアシス、阪急ニッショーストア、阪急ファミリーストア)の各店舗でご利用いただけます。

優待率 ■百貨店 10%(ただし、食料品は5%) ■食品スーパー 5%

(詳細は右ページをご参照ください)

2 阪急キッチンエール新規ご入会優待券

(株)阪急キッチンエールが運営する食料品・日用雑貨の会員制個別宅配サービス

「阪急キッチンエール」への新規ご入会時にご利用できます。(詳細は右ページをご参照ください)

発行基準

対象株主	お買物優待券	阪急キッチンエール新規ご入会優待券
1,000株以上、3,000株未満所有	10枚	1枚
3,000株以上所有	20枚	1枚
1,000株以上を連続3年以上所有 ^(注)	上記に10枚を追加	—

(注)対象となる方は、過去3年間すべての基準日(中間・期末)において、1,000株以上を継続して所有し、かつ株主番号が継続して同一である株主様に限ります。(株主番号が異なる場合は対象となりません)

お問い合わせ先 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 株主優待担当
電話 06-6365-8120(代表)

お買物優待券

取扱店舗

株式会社阪急阪神百貨店及び株式会社阪急の各直営店舗
でご使用いただけます。

- 百貨店 阪急百貨店及び阪神百貨店の各店舗
- 食品スーパー 阪急オアシス、阪急ニッショーストア、
阪急ファミリーストアの各店舗

ご利用方法

- (1) 上記取扱店舗の店頭での商品お買上の際にご使用いただけます。
- (2) ひとつの売場で1回のご入金につき1枚のご使用となります。ただし、食品スーパーでは、1回のお買上が消費税込3,150円未満の場合はご使用いただけません。
- (3) ご使用の際は、必ずお会計前(レジ登録前)にご提示ください。
- (4) ご入金は、現金、阪急百貨店及び阪神百貨店商品券・ギフトカード、全国百貨店共通商品券・百貨店ギフトカードに限らせていただきます。
ただし、食品スーパー各店では、ギフトカード及び百貨店ギフトカードはご使用いただけません。
- (5) インターネットショッピング、代金引換配送にはご使用いただけません。
- (6) 他の優待・割引制度とあわせてご使用いただくことはできません。

優待割引

店頭での商品ご購入の際、割引対象商品について、商品代金を次の割引率に応じて割り引きます。

- 百貨店 10% (ただし、食料品は5%)
- 食品スーパー 5%

各店舗・売場により割引の処理方法が異なる場合がございますので、予めご了承ください。

なお、中元・歳暮ギフトカタログ掲載品(早期割引対象商品を除く)は、5%となります。

優待除外品

商品券、全国百貨店共通商品券、ギフトカード、ビール券、図書カード、いいもの折一ギフト、各種商品引換券、テレフォンカード、たばこ、地金類、切手、はがき、書籍、雑誌、CD、福袋、送料、荷造費、修理・加工料、工事費、クリーニング、レストラン・喫茶、理・美容・エステ・ネイルケアなどの施術・技術料、各種スクール受講料、貸衣装、写真室、屋上諸施設、自動販売機、TVゲーム機、携帯ゲーム機本体、その他各店が特に指定したもの※

※「特に指定したもの」に該当するブランドとして、シャネル(化粧品除く)、カルティエ、ブルガリ、エルメス、ディオール、ヴァンクリーフ & アーベル、ロエベ、ルイ・ヴィトン、ティファニーなどがございます。

※食品スーパーでは、酒類は優待除外とさせていただきます。

※優待除外品は予告なく変更させていただく場合がございますので、詳しくは店頭にて係員にお確かめください。

阪急キッチンエール新規ご入会優待券

ご利用方法

- 個別宅配サービス「阪急キッチンエール」のご入会お申し込み時にご使用いただけます。
- ご使用の際は、必ず阪急キッチンエール入会申込書類に添えてご使用ください。
- ご使用については、お申込者またはお届け先が株主様ご本人または同居のご家族である場合に限りさせていただきます。

優待内容

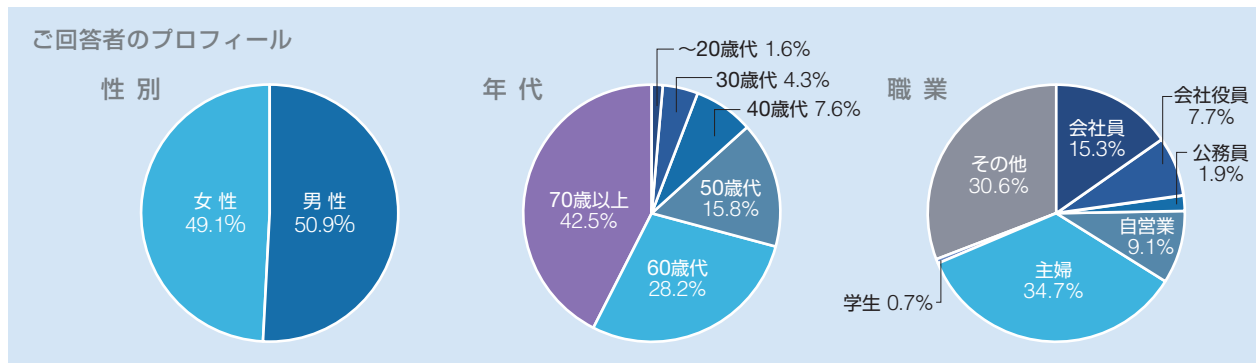
- 入会金(1,050円)、月会費(500円)2か月分を無料とします。
- エールポイント1,000ポイント(1,000円相当)を付与いたします。

〈ご注意〉■阪急キッチンエールにお申し込みの際は、株式会社阪急キッチンエール及び当社の間で、お申込者及びお届け先の住所・氏名等の個人情報を共有させていただきます。■阪急キッチンエールにお申し込みいただいても審査の結果ご入会いただけない場合がございます。■他の優待制度とあわせてご使用いただくことはできません。

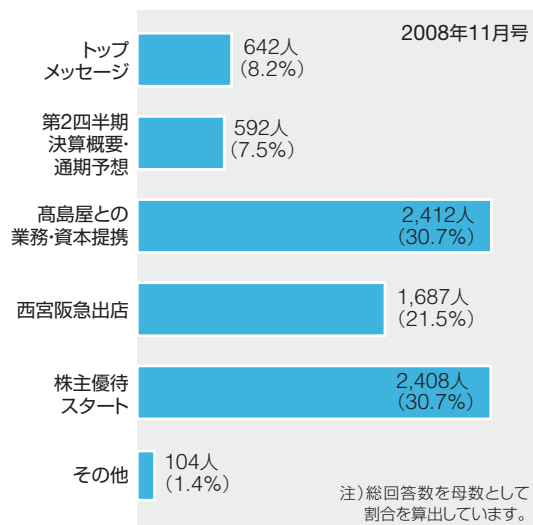
株主アンケート結果のご報告

昨年11月に実施いたしました株主アンケートにご協力
いただきまして、ありがとうございました。
今回は、4,624通のご回答をいただきました。

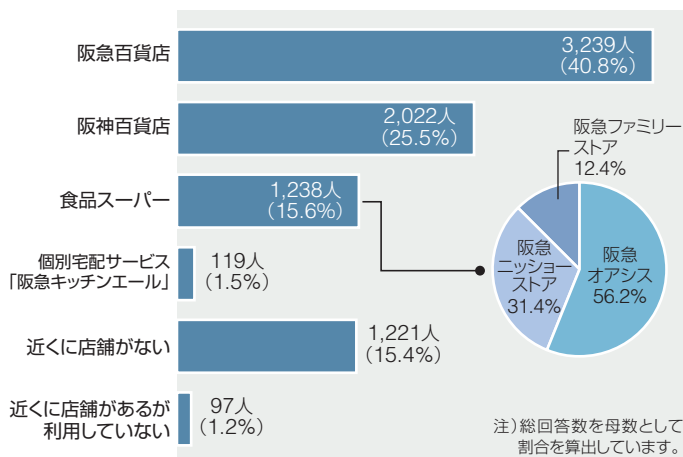
アンケートの結果について、その一部を掲載させてい
たいただきます。



● 株主通信の内容で興味を持たれたものがあれば教えてください。(複数回答可)



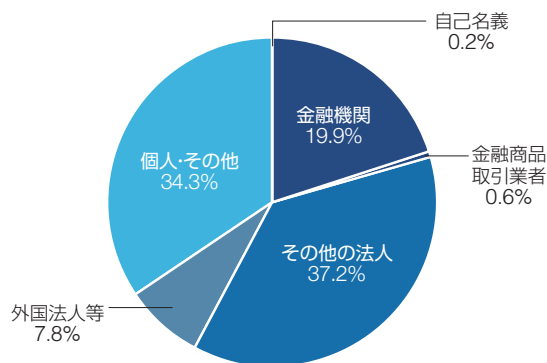
● 現在、当社グループの店舗・サービスをご利用されていますか？(複数回答可)



※ アンケートの結果やお寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、今後の株主通信や株主サービス拡充の参考とさせていただきます。

■発行済株式総数……………206,740,777株

■所有者別株式保有状況



■大株主の状況

大株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
阪急阪神百貨店共栄会	32,860	15.93
阪神電気鉄道株式会社	29,498	14.30
株式会社高島屋	20,675	10.02
阪急阪神ホールディングス株式会社	15,470	7.50
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	7,036	3.41
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4G)	6,746	3.27
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,129	2.49
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	3,035	1.47
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4)	2,802	1.36
株式会社三井住友銀行	2,248	1.09

注. 出資比率は発行済株式の総数から自己株式を除いた数に基づき算出しております。

会社概要 (2009年3月31日現在)

社 名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
 英 文 社 名 H2O RETAILING CORPORATION
 本 店 所 在 地 大阪市北区角田町8番7号
 設 立 1947(昭和22)年3月7日
 資 本 金 17,796,659,575円
 電 話 06-6365-8120(代表)
 ホームページアドレス
<http://www.h2o-retailing.co.jp>

役員 (2009年6月24日現在)

代表取締役会長兼 CEO 梶岡 俊一
 代表取締役社長 若林 純
 代表取締役 新田 信昭
 取締役 藤 洋作
 取締役 安藤 温規
 取締役 角 和夫
 取締役 千野 和利
 取締役 内山 啓治
 取締役 安川 茂
 取締役執行役員 森 忠嗣
 取締役執行役員 林 克弘
 執行役員 大野 潤一
 常勤監査役 小西 敏允
 監査役 高井 英幸
 監査役 中川 剛
 監査役 高村 順久

株 主 メ モ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

期末配当金
受領株主確定日 3月31日

中間配当金
受領株主確定日 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座
口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒530-0004
大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)

公 告 の 方 法 電子公告により行います。
公告掲載URL
<http://www.h2o-retailing.co.jp/koukoku>
(ただし、電子公告によることができないやむを得ない
事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)配当金の口座振込のご指定につきましても、お手続きは配当金振込指定書を各口座管理機関を経由してお届けいただくこととなりました。振込指定のお手続きにつきましては詳しくは各口座管理機関にお問い合わせください。
- (4)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。